

現在、国立国際医療研究センター病院 脳神経外科では保管している診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、当院の倫理審査委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方やそのご家族等の代託者の方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。未成年者の方や認知機能低下を認める方については代託者の方からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対してもご対応いたします。また、研究への不参加による患者さまへの不利益は生じません。

【研究課題名】

重傷頭部外傷患者の予後に影響を与える背景因子に関する研究

【研究期間】

倫理審査委員会承認日から2028年12月31日まで

【研究対象者】

2013年1月1日～2022年12月31日の間に頭部外傷の診断で入院となった方

【利用している診療情報の項目】

<基本調査項目>

- 年齢、性別
- 受傷日と受傷時間、受傷機転
- 受傷前、受傷後最大5年間のGlasgow Outcome Scale (GOS), modified Rankin Scale (mRS)
- 来院時点のGlasgow Coma Scale (GCS), 瞳孔所見, バイタルサイン
- 来院時のCT 検査所見, 血液検査所見
- 既往歴：頭部外傷/脳梗塞、脳出血/ TIA / くも膜下出血/ その他脳血管障害の既往/ 高血圧/ 糖尿病/ 心筋梗塞 / 不安定性狭心症/心不全 その他血栓塞栓症/ 血行再建術/ 冠動脈疾患/ その他
- 発症前内服薬の種類とその内服量：抗血小板薬、抗凝固薬

<治療内容調査項目>

- 手術の有無、手術法、手術時間、骨片長、術後CT 所見
 - 治療方法（鎮静薬、鎮痛薬、浸透圧利尿薬、体温管理、輸血、人工呼吸器管理、その他）
 - 治療合併症（水頭症、後出血、創部感染、髄膜炎など）の有無とその内容
-

【利用の目的】（遺伝子解析研究： 有 ）

本研究では当院における過去の頭部外傷患者の診療情報を解析することで、頭部外傷患者の長期予後に影響を与える背景因子を解明し、今後の頭部外傷診療の活かすことを目的とします。

【利用期間】

倫理委員会承認日から2028年12月31日まで

【主な共同研究機関及び研究責任者】（営利企業との共同： 有 ）

無し

【外部の研究組織】

無し

【この研究での診療情報の取扱い】

当院の倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等】

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

【個人情報の開示に係る手続きについて】

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

【利益相反について】

利益相反の状況については国立国際医療研究センター利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。また、利益相反に該当する事実はありません。

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：国立国際医療研究センター病院 脳神経外科 科長 井上雅人

研究内容の問い合わせ担当者：国立国際医療研究センター病院 脳神経外科 医師 井上雅人

問い合わせ窓口：脳神経外科外来 電話: 03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）
